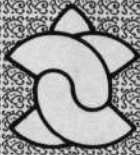


—創刊号—

編集：立命館大学化学科同窓会事務局  
〒603 京都市北区等持院北町56-1  
立命館大学化学科内  
TEL 075-463-1131  
(内3635)

立命館大学



化学科同窓会ニュース

あいさつ

会長 吉田 巖

(永和化成工業株式会社)



晩秋の候、皆様には各界各分野にて益々御活躍のこととお慶び申し上げます。

御承知の通り去る6月12日、母校清心館に於いて盛大に立命館大学化学科同窓会の発会式が開催されました。本会は発会式に至る過程におきまして名簿の発刊、会則案の作成等々、世話の方々の大変なご苦労により結成されたものであります。

その結成の準備の段階に於いて準備会の方々より、私に初代会長候補にとの要請がありました。私は優秀な先輩が沢山おられること、多忙を極めておられること、又その器でないこと等、堅くお断り申し上げましたが世話人代表の方々の強い意向もあり、発会式には皆様の承認を得て、微力非才をかえり見ず初代会長の重責を負うことになりました。しかしながら、かねてより私もこの同窓会を結成することにつき、全く賛同していた

もの一人であり、お引受け致しました限りは幹事会の方々の御支援を得ながら同窓会の維持発展の為に努力を尽す所存でございます。御存知の様に我々同窓生は専門学校、短大、大学一部、二部を含めまして六千余名にのぼり、更に毎年新同窓生が一百余名増加致しております。高等工科、日満高等工学科、専門部学科、専門部理学部；等、変遷の歴史があり、名称が異なり、年代、教室は異なりますが、ここに立命館大学化学科として一つの同窓会が結成されたことは大きな意義があることと存じます。

皆様に承認を得ました会則に本会の目的は親睦を図ることとありますが、この親睦を図ることこそ、我々社会生活に非常に意義深いことと存じます。その為にも各会合には出来るだけ多くの会員の方々の参加を願ひ、よく世に見られるような一部の限られた人達の満足の為の会ではなく、六千余名の開かれた同窓会として発展させたいと存じております。

化学科同窓会は今、生れたばかりであり、体力のない、ひ弱な組織でございますが、今後継続、発展してこそ、体力もつき、その意義が相乗的に

に發揮されることと存じます。今後の会運営につきましては種々の障害もあろうかと存じますが幹事の方々の御支援を得ながら、同窓会の発展の為に尽力を致したいと存じます。

会員各位におかれましても御理解と御協力をよろしくお願ひ申し上げます。  
(専門一部二十五年卒  
大学一部二十七年卒)

同窓会通信 “発会式”

去る6月12日(日)、午後1時より清心館4階50号室で、卒業生約二百三十名を集めて発会式が行われました。準備会世話人代表の杉田嘉一郎先生の挨拶、校友会副会長の藤谷景三先生の祝辞、続いて恩師卒業生の物故者の方々への黙禱が行われました。

引き続き、議長に石原進氏(専門一部二十五年卒、大学一部二十七年卒)、副議長に山上満氏(大学一部二十九年卒)をそれぞれ選出し、議事が進められました。

まず準備会を中心として進められてきた発会式に到るまでの経過報告、同窓会準備費等の会計報告、さらに名簿作

成に関する経過報告などの一連の経過が報告されました。諸報告を承認の後、続いて会則案が提案され、質疑が行われました。準備会を中心とする会則案作成に到るまでの経過が説明された後、年会費の原案(二千元)を含め提案されました。役員選出に関する第一節を中心に討論が行われ、年会費二千元、六月十二日から実施を含めて、会則が原案(すてに五月に配布済)が一部修正の上承認されました。

次に会則にそって役員選出が行われました。役員選出にかかわる準備会での討議経過が説明された後、初代会長



発会式で挨拶される杉田先生

として吉田巖氏にお願いしたい旨提案され、満場一致で選出が承認されました。続いて副会長、会計幹事、庶務幹事が新執行部門の人選が別記の通り決まりました。さらに続いて会計監査には福井明氏(専門一部二十年卒)市川延繁氏(大学二部二十八年卒)の選出が行われ、顧問としては、本島健次・杉田嘉一郎両先生、長谷川忠夫・尾池耕三両氏の方々に委嘱することが承認されました。

なお、年度幹事の選出は、各学科の卒業生の方々にお願ひすることとして、本日中に人選をお願いする。但し発会式当日に決定しない場合には、新執行部にその人選を一任することの取り扱いを承認し、一連の役員選出に関する議事を終りました。

田巖氏の就任挨拶があり、二時四十五分に発会式は閉会しました。



会場風景

役員名簿

(発会式で選出された年度幹事を除く役員の方々です。)

顧問	本島 健次 (旧教員)	
	杉田嘉一郎 (現教員)	
	長谷川 忠男 (専門1部22年卒)	
	尾池 耕三 (専門1部23年卒)	
会長	吉田 巖 (専門1部25年、大学1部27年卒)	
副会長	津田 和夫 (大学1部28年卒)	
庶務幹事	岡本 勇三 (専門1部25年、大学2部27年卒)	
	岩橋 清 (専門1部23年、大学1部27年卒)	
	今達 棟治 (専門1部24年卒)	
	東 龍夫 (大学2部29年卒)	
	小林 亀造 (大学1部33年卒)	
	松田十四夫 (大学1部38年卒)	
	谷口 吉弘 (大学1部40年卒)	
会計幹事	服部 定治 (専門1部19年、大学2部34年卒)	
	野村祐三郎 (専門1部20年卒)	
	佐々木右八 (大学1部32年卒)	
	山本 善史 (大学1部35年卒)	
	中村 尚武 (大学1部41年卒)	
会計監査	福井 明 (専門1部20年卒)	
	市川 延繁 (大学2部28年卒)	

(敬称略)

# 記念講演会

発会式終了後、「私と立命館大学」と題して、恩師の本島健次先生(現日立製作所エネルギー研究所勤務)の記念講演が、鈴木啓三先生の司会で行われました。本学の教員時代、そしてその後のさまざまの出合いが、立命館大学の歴史にからませて語られました。約三十分と短時間でありましたが、先生の持つ大きな包容力、学問・研究に対する厳しさに、一同強い感銘を受けました。



記念講演される本島先生

# 懇親会



懇親会風景

記念講演会終了後、場所を存心館地下生協食堂に移して懇親会が開催されました。天野和夫総長、黒田寿紀理工学部長、今田博之理工学部長、藤谷景三校友会副会長の来賓、旧教員の本島健次山下大二郎・渡辺明の先生方、林院化学科主任、他現化学科教員を含め、総数二百五十六名が出席して盛大に行われました。

天野総長・黒田学部長・山下先生・長谷川顧問の挨拶があった後、渡辺先生の発声で乾杯が行われにぎやかに開始されました。

恩師を囲む輪、卒業生同志の輪があちこちにでき、つきない会話が続けられました。孫のいる世代から現四回生まで、化学科の歴史が反映される会場風景でした。

夕やみせまる頃、校歌を合唱し、再会を誓って家路につきましました。

# 幹事会

去る十月二十三(三)、午後二時より、京都教育文化センター第三会議室で、本年度第一回幹事会が行われました。出席者は三十七名で委任状を含め、幹事会が成立していることが確認された後、岡本勇三副会長を議長に選出し議事が進められました。

経過報告(発会式議事録、発会式当日の出席者数、名簿売上げ状況、広告代、賛助金、寄附金の応募状況等)、会計報告(同窓会準備費、発会式当日の懇親会費、名簿作成費、

賛助金・寄附金等)がそれぞれ行われました。議事録の形式などについて質疑の後、これらを承認、続いて、本年度事業及び次年度の計画等について、予算案も含めて種々討議が行われました。今秋に同窓会ニュースを発行することなどを含めた事業計画、今年度の予算案(暫定)は、通信費六十万円、会議費十万円、事務費八万円、予備費八万円とすることなどを承認し、五時前終了しました。

# 事務局通信

発会後会長・副会長・会計幹事・庶務幹事を中心に、「事務局会」を構成し、種々討議を行いながら、会運営にあたってまいりました。今後も、この体制で、役員同志疎通をはかりながら、会員皆様の期待にそえるよう会運営を行いたいと考えております。

今回、同窓会ニュース発行にあたり、発会式、幹事会等で報告し承認されました内容を中心に、会の運営状況全体がわかるように編集しました。次回以後は、学内の状況も報告できるように編集したいと考えております。

# 役員名簿 ……年度幹事……

(発会式当日及び、その後に出選された方々です。)

専門学校	新制大学	昭和36年卒	佐々木 豊
〈一部工科〉	〈二部化学科〉	37年卒	近藤 照雄
昭和18年卒 宇佐美博三	昭和27年卒 宇野 光造	38年卒	秦 修
19年卒 服部 定治	28年卒 八木 永治	39年卒	北尾 紆彦
20年卒 野村祐三郎	29年卒 九鬼 敏雄	40年卒	本田 正弘
22年卒 清水 保孝	30年卒 東 龍夫	41年卒	東 博之
23年卒 岩橋 清	31年卒 亀田 宏章	42年卒	野田 博之
24年卒 志多野義夫	32年卒 伊藤 俊昭	43年卒	篠原 長政
25年卒 石原 進	33年卒 清水 博	44年卒	岡村 昭信
26年卒 山田吉之介	34年卒 石田美野里	45年卒	岡村 俊男
〈一部理科〉	35年卒 上原 正己	46年卒	阿部 重典
昭和20年卒	36年卒 寺井 良平	47年卒	木村 俊久
22年卒 山田 益三	37年卒 山本 清利	48年卒	宮地 淳
23年卒 福味 幸司	38年卒	49年卒	白石 晴樹
24年卒 西村 敏次	39年卒 山本 修三	50年卒	岡 正則
25年卒 竹内 良夫	40年卒 梶田 晋司	51年卒	澤村 精明
26年卒 八木 永治	41年卒 天田 健治	52年卒	米沢 忠弘
〈二部理科〉	42年卒 加納 修	53年卒	松本 浩一
昭和19年卒 奥 悦	〈一部化学科〉	54年卒	小島 真也
20年卒 林 幸男	昭和27年卒 三宅 宏和	55年卒	河村 年昭
22年卒 山本 徳治	28年卒 津田 和夫	56年卒	中井 昇
23年卒 三原 才弘	29年卒 山上 満	57年卒	雪本 清人
24年卒	30年卒 元川 宏史		北河 英次
25年卒 宇野 光造	31年卒 香山 彰朗	58年卒	中井 義
26年卒 九鬼 敏隆	32年卒 岡本 朗		中井 義
短期大学	33年卒 磯野喜美子(田村)		
昭和27年卒 椿 年雄	34年卒 花沢 明		
28年卒 岡田 克己	35年卒 久保 繁夫		

(なお、空欄の年度幹事は現在までに未選出です。敬称は略させていただきます。)

## 化学科同窓会準備会 会計報告

(本会計報告は、1982.3.14 化学科卒業生懇親会で設立が認められた「化学科同窓会」の設立準備活動に関するものであり、1983.6.12 化学科同窓会発会式において承認を受けたものである。)

(収入)	(支出)	(残高)
賛助金 2,023,400	印刷費(懇親会案内、ハガキ等) 140,500	
懇親会会費 1,397,000	送料( " 返信ハガキ) 342,420	
" 寄付金 35,000	招待費 23,000	
	運営費 41,780	
	準備会費 177,190	
	" 通信費(印刷・送料) 48,240	
	印刷費(発会式案内等) 373,700	
	送料( " ) 610,450	
	人件費(アルバイト代) 293,000	
	消耗品費 38,101	
	生協支払(懇親会費) 953,230	
	運営費(懇親会) 246,730	
計 3,455,400		3,288,341 167,059

## 化学科同窓会懇親会(1983.6.12) 会計報告

(本会計報告は1983.10.23 化学科同窓会幹事会において承認を受けたものである。)

(収入)	(支出)	(残高)
会費 1,040,000	生協支払(懇親会費) 1,000,000	
寄付 25,000	雑費 44,185	
計 1,065,000		1,044,185 20,815

## 化学科同窓会会員名簿出版事業会計中間報告 (1983.10.25.現在)

(収入)	(支出)	(残高)
名簿売上金 3,124,500	名簿作成費 3,015,000	
(送料部分含む)	" " 事務費 510,400	
広告代 610,000	" 送料 256,680	
計 3,734,500		3,782,080 -47,580

## 化学科同窓会会計中間報告 (1983.10.25.現在)

(収入)	(支出)	(残高)
賛助金(会費) 1,138,210	発会式アルバイト代 76,000	
寄付金 322,500	通信費 22,190	
利息 14,245	人件費 124,400	
雑収入 19,169	消耗品費 37,863	
	会議費 155,180	
	雑費 10,000	
計 1,494,124		425,633 1,068,491

考えております。同封しました会則は、発会式で承認されたものです。なお、年会費等の納入に關しましては、別紙に記載致しました。会運営を円滑に行うために、年会費の納入にご協力下さいますようお願い申し上げます。直接学校の方へ持参いただいても結構です。